

# 阪神・淡路大震災の記憶、教訓を風化させない

## 総追悼法要営む

### 神戸別院

阪神・淡路大震災か

ら26年が経った1月17日、神戸別院（中尾了信輪番、神戸市中央区）は物故者総追悼法要を営んだ。

新型コロナウイルスの感染拡大により兵庫県に緊急事態宣言が発出されたため、参拝の呼びかけを中止し、出

勤僧侶、参拝者全員がマスクを着用するなど十分な感染防止策を施した上でつとめた。法要は同別院ホームページでライブ配信した。

中尾輪番を導師に職員3人が出勤。参拝者とともに正信偈をおつとめた（写真）。中尾輪番はいさつで6434人の犠牲者を偲びつつ、今後も震災の記憶、教訓を風化させることなく追悼の営みを継続していきたいと話した。



法要後に毎年行っている「1・17いのちを考える研修会」はコロナ禍のため中止したが、いのちの尊さを発信し続けなければならぬとの思いから、同別院ホームページ上